

相生 デイ サイブス 新聞

発行所
相生DS
44-4165



オゼコウホネ

おーい雲よどこへゆくんだ
夏の積乱雲が消えて、うろこ雲が高く
秋の空のなかにもありまゝした。
ゆっくりと流れて、
「おーいどこへゆくんだ」と問いかけ
たいような
白い雲でした。

名歌

夕さ水は門田の稲葉
あとづれて蘆のまろ屋
に秋風ぞ吹く

源 経信



中山道・木曾福島宿

言葉の季節 お陽 ちゆう重

中国では、

「九」が二つ並ぶこの目を

めでたい目として、

長寿の効き目があるという

菊の花を浮かべた酒を飲む。

(九月九日)

? 食べものですか
なにかな。

- ・9割が水分です
食感は「シャリ・シャリ」
栽培は
弥生時代頃

詩



今月の予定

- | | |
|--------|----------|
| 8 (土) | 習字 |
| 15 (土) | 敬老会 |
| 18 (火) | 春さんと仲間たち |
| 19 (水) | ささこいホバイ |
| 20 (木) | 和弘一座 |
| 21 (金) | 小林音楽 |
| 26 (水) | つじ華の会 |
| 27 (木) | 藤美会 |
- * おやつ作り

床屋さん
3 (月)
12 (水)
20 (木)
28 (金)



ユーモアくらぶ
手術が終わった。
意識がもどって

男は
「ああ、無事に済んだか」とつぶやいた。
すると、隣の患者が
「安心するのはまだ早いよ、あの医者は
そとつかしいからぬ。
俺なんか腹ん中に
がーせを忘れちまって

思い出の名画

男たちの誇りをかけた
生き様が...
1958年



また、
切ったんだ」
その時、
病室に
その医者が
来て、
「だれか、
私のメガネ
を知らない
かな...
見つかり
ないんだ」
男は、
また、
気を失った。

天声 珍 語
不意に部屋に入ってきた。
赤くほてっている。
時刻表を見て、
いる私の肩に
触れた。
「そうか、
お前もな。
この路線に乗っ
て、
このあたりまで
指でなぞり
ながら言った。
気持ちのいい
空が広がって
いるはずだ。
冷んやりとした
空気は静かな
やすらぎを
与えてくれる
だろう。
そこで、
自由に飛ぶが
いい。
「いっしょに行こう」
そう約束すると
赤とんぼは
くるっと窓の
外に消えた。
スズ